

# 東京

## 「其の日」暮らし

＝ドイツ編＝



### 橇デビュー

雪が降ったりやんだりの天気が一週間ほど続いています。先週は掃除当番に当たっていたので週の半ばから毎日、朝昼夕方と雪かきをしていました。大変なはずの雪かきですが、今年こそは橇で遊べるかも？と思いつながらの作業をしていたので苦にはなりませんでしたが、去年はあまり雪が積もらなかった為に出来なかった橇デビュー今年こそは！とワクワクしていました。

初めてドイツに来た冬も雪は積もったのですが、折しもクリスマス休暇の真っただ中。店はどこも休みで橇を買うこともできずにいたのですが、友達が考案したビニールプールを橇代わりにして滑るという方法で楽しんでいました。去年は橇を用意していてもかかわらず滑れるほど雪が降らず橇を使うことがないままで春になりました。そして今年やっと橇で遊ぶことの出来るほど雪が積もったのです。毎日天気予報をチェックしながら天気の良い日を今日か今日かと待っていました。そして待ちに待った晴れた日がやってきました。天気はよいのですが気温はマイナス8度。顔や耳がじんじんする寒さの中滑ってき



ました。我が家の橇は木で出来ていて子供2人と大人が乗る事の出来る大きさです。橇のタイプはいろいろあって、昔ながらの木で出来た物やハンドルやブレーキの付いたプラスチックの橇や小さいプレートの上に座って滑るお手軽なものまで色々あるのです。子供が乗った橇を引っ張りながら雪の積もった歩道の上をとことこ歩いて近所の公園に向かいました。その公園には小さい子供が橇遊びをするのにちょうど良い傾斜があるのです。小学生くらいの子供達にはかなり物足りなく感じる場所なので、人が少なく滑りたい放題なのです。早速橇で滑りました。やっぱりビニールプールとは違います。良く滑るし、何より冷たくない！かなり



我が家の橇（右）と、貸切状態の斜面（上）

スピードが出ていて私はちよつと怖かったのですが、息子は一人で何度も滑っていました。夢中で滑っていたのですが、まだ4時というのにどんどん暗く、寒くなってきたので小1時間ほど遊んで家に帰りました。帰り道に近所の大きい池を見ると凍っていました。このままの寒さが続くと池の氷がもっと厚くなってスケートが出来ると、去年真冬の池に落ちた事も忘れて次の冬の遊びを期待するのです。

PUKIPUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞